

住民発！

## 藤ノ木校区小地域福祉活動第一次計画



子どもから高齢者まで  
楽しく安心して暮らすことが出来るまち 藤ノ木



この冊子は、藤ノ木校区社会福祉協議会を中心に、まち協や自治会などの関係団体等が連携して、「福祉のまちづくり」を推進するため、お住いの皆さんが安心・安全して暮らせるための取り組みなど記載しています！



藤ノ木校区社会福祉協議会

## ごあいさつ

藤ノ木校区は、国道199号線と石峰山に挟まれ、東西に細長く広がっており、平坦な場所よりも傾斜地の方が多い地域です。

そのため、特に高齢者にとっては通院や買い物など移動を伴う行動が難しいことが大きな課題であり、その解決に向けた取り組みも行ってきましたが、状況の変化により中止になってしまったため、今後も同様の課題が増えることが予想されます。

それ以外にも様々な課題が浮かんできた現在において、今後の地域福祉活動を進めていくために、各地域団体がもう一度活動や課題を共有し、それらに対して話し合い、協力していくことが重要であると考え、すでに策定されている北九州市の「北九州市地域福祉計画」と北九州市社会福祉協議会の「地域共生きたきゅうプラン」との整合性を持った、この新しい小地域福祉活動計画を策定しました。今後はこの計画を基に、「子どもから高齢者まで楽しく安心して暮らすことが出来るまち 藤ノ木」に向けた活動を推進してまいりたいと存じます。

最後に、この計画策定にご尽力いただいた関係者の皆様に、感謝申し上げます、挨拶とさせていただきます。

藤ノ木校区福祉協議会  
会長 濱谷 正人



## もくじ

ごあいさつ	・・・1P
第1章 計画策定にあたって	・・・2P
1 計画の性格	
2 計画の期間	
3 計画の策定経過	
第2章 藤ノ木校区の現状と課題	・・・3P
1 地域社会の動向	
2 地域の福祉課題	
第3章 計画体系	・・・4P
1 基本理念	
2 基本目標	
3 実施項目（体系図）	
4 重点実施項目	
第4章 計画の推進	・・・8P
1 計画の承認と周知	
2 計画を推進するための体制	

# 第1章 計画策定にあたって

## 1 計画の性格

### (1) 住民発信の行動計画

藤ノ木校区の様々な福祉課題を解決するために、地域住民・諸団体等が将来の見通しを持ち計画的に活動しようとするための行動計画です。

### (2) 小地域の生活を支える計画

藤ノ木校区に住む人たちの「生活」を支えることを活動の基本とする計画です。

### (3) 北九州市及び北九州市社会福祉協議会と連携する計画

北九州市及び北九州市社会福祉協議会の計画と連携しながら、地域福祉活動を進めていく計画です。

### (4) 藤ノ木校区の活動指針となる計画

社会福祉協議会が地域福祉推進の中核的な団体としての方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有します。

## 2 計画の期間

令和6年度から令和10年度の5ヵ年とします。また期間中に地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直します。

## 3 計画の策定経過

令和4年度に藤ノ木校区の活動の基盤となっている4つの自治会(23区、24区、東25区、西25区)の会合において、実際の活動や気になる・困っていることについてのアンケートを実施しました。また令和5年度の「地域の未来づくり講座」において、社協・民児協・自治会関係者が地域の課題、長所、今後必要なことについての意見交換を行いました。

それを基に体系図(案)を作成し、地域の関係者が多く集まるまちづくり協議会の拡大会議の場を活用し、説明や話し合いを行ってきました。

令和6年1月の拡大会議において、冊子版(案)について確認し、その時に出た意見等を踏まえ、最終的には3月の拡大会議で最終確認、作成しました。



### 【アンケートや話し合いで出たことの例】

- ・ 地域の高齢化(活動者も含め)
- ・ 各自治会で活動はしっかり行われているが、全体で共有されていない(横の繋がり)
- ・ 安心して暮らせるまちにしたい!
- ・ 子どもを対象とした事業が豊富。今後も継続!

## 第2章 藤ノ木校区の現状と課題

### 1 地域社会の動向

#### 藤ノ木校区データ

令和5年9月30日現在

人口	6,366人	保育園	石峰保育所
世帯数	3,455世帯	小学校	藤木小学校
		中学校	石峯中学校
高齢化率	39.5%	市民センター・公民館 (活動拠点)	藤ノ木市民センター 第23区公民館 第24区公民館 東25区公民館 石峰公民館(西25区)
一人暮らし高齢者数	827人	地域包括支援センター	若松1
高齢者のみ世帯	491世帯		
その他社会資源等	<b>【福祉】</b> 介護老人保健施設 グリーンライフ、よりどころ 叶夢 など <b>【医療】</b> 若松区医師会館、手島内科医院、中村内科クリニック、 今光ホームケアクリニック など <b>【その他】</b> 若松警察署今光交番、若松消防署石峰分署、(株)池間組 など		

藤ノ木校区は国道199号線と石峰山に挟まれ、東西に細長く広がった地域であり、平坦な場所よりも傾斜地の方が多く、バス停までの道のりも大変なため、高齢者にとって移動も大変な地域です。

拠点となる市民センターも傾斜が急な坂の上であり、そこまで行けない高齢者も多いため、より身近な地域である各自治区エリアで、公民館を拠点としてサロンなどの活動が展開しています。

より良い地域づくりに向け、例えばまちづくり協議会の拡大会議では地域の代表者や市民センター館長、小・中学校校長など多種多様な方が参加してくださるなど、全体としては関係も良く、連携が取れている地域です。

### 2 地域の福祉課題（および小地域福祉活動の課題）

高齢化率も高く、先に述べた地理的な特徴から、高齢者の通院などの移動を伴う諸問題は大きな課題です。特に買い物については、施設のバスを利用した大正町商店街（浜町）への買い物支援はコロナ禍以降休止、また身近な買い物施設であるマルショク二島店の閉店などもあり、今後の課題となりそうです。

そのような生活課題への対応として西25区をモデル地区に「石峰ちょこっと応援隊」がR3年7月よりスタートし、活動を続けています。この活動をどのように藤ノ木校区へ広げていくのかも今後の課題となります。

またサロンや見守りなどの活動も自治区単位で開催しているが、校区内の課題や取り組みについて共有したり、今後の更なる充実のためには、場を設ける、または既存の会議の場を活用するなどの工夫が必要だと考えています。

## 第3章 計画体系

### 1 基本理念 「子どもから高齢者まで楽しく安心して暮らすことの出来るまち 藤ノ木」

藤ノ木校区では、今後は誰もがこの地域で安心・安全な生活を送れることを目指し、「子どもから高齢者まで楽しく安心して暮らすことの出来るまち 藤ノ木」という言葉を計画の理念(今後の目指すべき姿)とし、これからの計画を推進していきます。

### 2 基本目標

- (1) 安心して暮らせるまち 藤ノ木 (防犯・防災、生活の困りごと支援など)
  - ・みんな de Bousai まちづくり推進事業を活用した防災体制づくり
  - ・子どもたちの登下校、年末や夜の時間帯の防犯パトロール
  - ・生活の困りごとの解決に繋がる体制(石峰ちょこっと応援隊)づくりといった活動を通じ、これからも安心して暮らせるまちづくりを目指します。
- (2) 誰もが楽しく暮らせるまち 藤ノ木 (交流・親睦行事や健康づくりなど)
  - ・各種体操に取り組み、少しでも健康な時間を長くする取り組みの実施
  - ・多様な地域行事の実施とそれに伴う多世代の参加・繋がりづくり
  - ・地域の居場所づくりであるサロンの充実といった活動を通じ、誰もが繋がりを持ち、楽しく暮らせるまちづくりを目指します。
- (3) 思いが受け継がれるまち 藤ノ木 (風土づくりや組織体制の維持・充実など)
  - ・今後の更なる活動の充実に向けた地域内での連携促進
  - ・自治会加入促進や活動者の確保・掘り起こしによる活動の基盤づくり
  - ・広報活動の実施による活動の周知・理解と福祉の風土づくりといった活動を通じ、この活動や体制が未来に受け継がれるまちづくりを目指します。

#### 【活動の例】



(藤木小学校での防災訓練)



(サロンの1つ ユーカリの会ミニデイサービス)

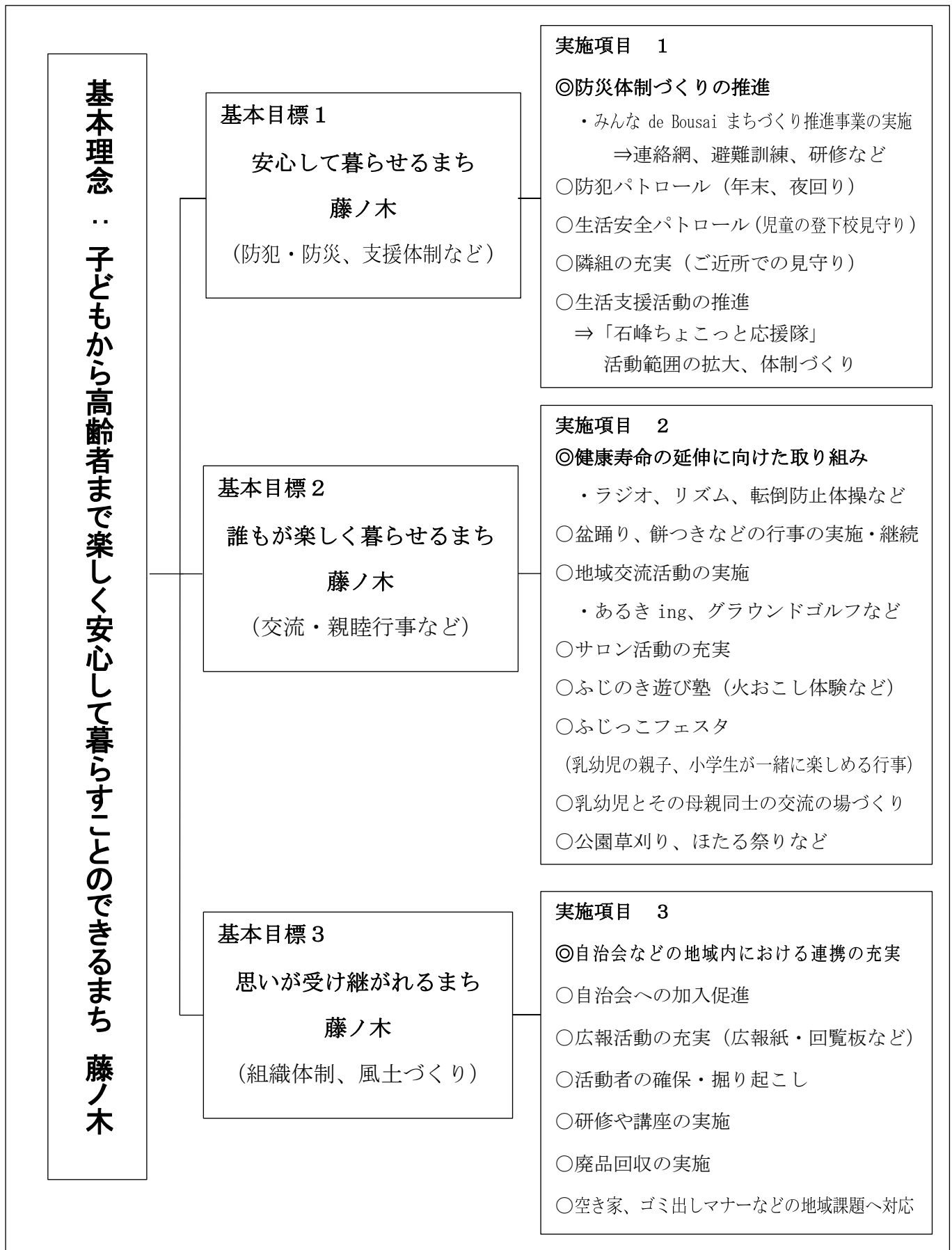


(まちづくり協議会拡大会議)

これらをはじめ、  
様々な活動を行って  
います!



### 3 実施項目（体系図）



## 4 重点実施項目

重点実施項目 1		防災体制づくりの推進						
1 課題背景								
<p>藤ノ木校区は傾斜地の方が多く、大雨による土砂や洪水による被害、平坦な場所は洞海湾が近いため高潮や津波による被害、また身近な場所（畠田）に危険度の高い断層があることから、地震による被害の危険があるため、あらゆる災害の危険性がある地域といえる。</p> <p>災害には、日頃からの意識や備えが重要であると言われる現状、上記のような地域である藤ノ木は、避難訓練などを通じた体制づくりや、住民の意識啓発を図ることが急務である。</p>								
2 活動の方針・目標								
<p>みんな de Bousai まちづくり推進事業を活用し、学校や地元企業と連携した避難訓練を継続して実施する。またその取り組みの中で、連絡網を始めとする情報伝達体制の整備や、災害に関する研修実施による住民の意識向上を図る。</p>								
3 段階的な取り組みの年次計画								
取り組み内容	連携する機関	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	備考	
みんな de Bousai まちづくり推進事業の推進	・自治会 ・まち協 ・市民センター	→						
学校と連携した避難訓練の実施	・自治会 ・まち協 ・藤木小学校	→						振り返りの中で、毎年より良いものとなるよう意識する
連絡網の作成・更新	・自治会 ・まち協		→	→			避難訓練などで活用しつつ、反省点を探っていく	
防災に関する研修講座の実施	・自治会 ・まち協 ・市民センター	→						活動者以外の住民の参加を呼び掛ける
計画の修正・見直し	・推進委員会			→		→	特に中間（3年次）と更新（5年次）は重点的に行う。	

### ※「みんな de Bousai まちづくり推進事業」とは

災害から自ら命を守る「自助」意識の醸成や地域で助け合う「共助」の風土づくりなどによる地域防災力の向上を図るため、各区まちづくり協議会を対象に、小学校区単位を基本とした住民主体で運営する「地区 Bousai 会議」の支援を行う事業です。

地区 Bousai 会議には市が指定するファシリテーター（進行役）が各会議に参加し、進行、議事、計画のとりまとめを行い、防災まちづくりなどのアドバイスを行います。



<b>重点実施項目 2</b>		<b>健康寿命の延伸に向けた取り組み</b>					
<b>1 課題背景</b>							
藤ノ木校区は先に述べた通り高齢化率も高く、傾斜地も多い地域である。健康を損ねてしまえば、移動が困難となり、通院なども厳しい状況となってしまうため、そのような方を少なくするためには、健康で居られる期間を少しでも長くすることが重要であると考えたため。							
<b>2 活動の方針・目標</b>							
体操の実施により、身体を動かす機会を得ると共に、そこに集う仲間たちとの交流の機会にもなるため、社会性の確保（地域とのつながり）の場にもすることで、心身の健康促進につなげる。 また健康に関する講座・研修により、必要な知識を学ぶとともに、住民の関心を高める。							
<b>3 段階的な取り組みの年次計画</b>							
取り組み内容	連携する機関	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	備考
ラジオ、リズム転倒防止体操の実施	・自治会 ・まち協 ・市民センター						
健康に関する講座研修の実施	・自治会 ・まち協 ・市民センター						行政（地域保健係）などとの連携も意識
計画の修正・見直し	・推進委員会						特に中間（3年次）と更新（5年次）は重点的に行う。

<b>重点実施項目 3</b>		<b>自治会などの地域内における連携の充実</b>					
<b>1 課題背景</b>							
藤ノ木校区は各自治区エリアをベースに、サロン、見守りなどの様々な活動を展開しているが、活動を通じての課題に対する意見交換や校区内でどのような活動を行っているかの情報共有をする機会が少ない。今後の活動の更なる充実のためにも、校区内連携を意識し、そのような場を持ちたい。							
<b>2 活動の方針・目標</b>							
各自治区での会議とは別に、全体の情報を共有する場を設ける。または既存の会議の中で、そういった場として活用できそうなものがあれば、まずは少しの時間から活動に関する報告・共有の時間を設け、代用する。							
<b>3 段階的な取り組みの年次計画</b>							
取り組み内容	連携する機関	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	備考
情報共有・意見交換の意識醸成	・自治会 ・若松区事務所						他校(地)区の事例紹介による働きかけ
課題解決に向けた話し合いの場づくり	・行政 ・民児協						必要に応じ、関係機関の参加を促す
推進委員会での情報共有・意見交換	・推進委員会						まちづくり協議会の拡大会議の場
計画の修正・見直し	・推進委員会						特に中間（3年次）と更新（5年次）は重点的に行う。



## 第4章 計画推進

### 1 地域への計画の承認と周知

- (1) 校区社会福祉協議会総会等を通じた社会福祉協議会活動者への計画の承認と周知
- (2) 計画の実施項目を進めていく上での関係機関・団体への周知・協力依頼
- (3) 計画書の配付等を通じた校区住民への周知

以上について、計画を推進していくために、計画の広報活動を行います。

### 2 計画を推進するための体制

- (1) 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

計画を推進していくために、藤ノ木校区小地域福祉活動計画推進委員会を設置し、計画の進行管理を行います。

- ① 関係機関・団体との連携
- ② 計画内容の具体的な実施方法
- ③ 進行管理の実施

以上について、委員会では協議を進めていきます。

- (2) 計画の進行管理

藤ノ木校区小地域福祉活動計画推進委員会を開催します。(当年度の事業推進の確認、年度内における中間確認、次年度の事業確認など) 委員会では、PLAN (計画立案)・DO (実行)・CHECK (点検・評価)・ACT (改善) というPDCAのサイクルを回しながら、計画内の各実施項目の進捗状況を把握し、うまく進行していない場合には、その原因を明らかにし、問題への対策を立て、その対応策を実施します。

- (3) 計画の評価

計画期間の中間点では計画全体の中間見直しを、最終年度には総括評価を行います。

### 3 第2次計画の策定

第1次計画の推進状況を踏まえ、第2次計画の策定期(計画第5ヶ年度)には新しく第2次計画策定委員会を設置し、計画策定に向けて協議を進めていきます。



参考資料【藤ノ木校区小地域福祉活動策定委員名簿】※まち協の拡大会議のメンバー

	氏名	所属団体等	役職	備考（構成団体または自治区）
1	濱谷 正人	藤ノ木校区社会福祉協議会 (藤ノ木校区まちづくり協議会)	会長 (副会長)	青少年育成協議会 代表
2	井上 千恵美	藤ノ木校区まちづくり協議会	会長	地区民生委員児童委員協議会 会長
3	宮寄 靖幸	藤ノ木校区まちづくり協議会	副会長	少年補導員 代表
4	中嶋 繁行	藤ノ木校区まちづくり協議会	副会長	西 25 区公園愛護会 代表
5	木村 薫	藤ノ木校区まちづくり協議会	総務広報部長	23 区
6	川村 春男	藤ノ木校区まちづくり協議会	まちづくり部会長	東 25 区公園愛護会 代表
7	古田 政範	藤ノ木校区まちづくり協議会	保健福祉部会長	23 区
8	岸川 信雄	藤ノ木校区まちづくり協議会	生涯学習部長	24 区
9	村田 政明	藤ノ木校区まちづくり協議会	防犯・防災部会長	24 区
10	木村 健二	藤ノ木校区まちづくり協議会	施設管理・環境美化部会長	24 区
11	麦平 保	藤ノ木校区まちづくり協議会	理事	23 区老人クラブ宮丸会 代表
12	吉田 富生	藤ノ木校区まちづくり協議会	理事	24 区
13	小柳 紀元	藤ノ木校区まちづくり協議会	理事	東 25 区
14	日高 高光	藤ノ木校区まちづくり協議会	理事	西 25 区
15	益村 正子	藤ノ木校区まちづくり協議会	理事	西 25 区
16	貞国 治英	西 25 区老人クラブ なかよし会	代表	西 25 区いこいの家運営委員会 代表
17	本田 壽志	石峯中学校	校長	
18	外山 典子	藤木小学校	校長	
19	樽床 明宏	石峯中学校父母教師会	代表	
20	河崎 泰子	藤ノ木市民センター	館長	

2 藤ノ木校区小地域福祉活動計画策定員会での協議事項

回	開催日	主な協議事項
1	令和4年11月~令和5年3月	1 各自治区の会合を回ってのアンケート調査協力依頼と実施
2	令和5年 5月30日	1 まちづくり協議会拡大会議の場で、主旨説明・アンケート結果確認
3	令和5年 7月25日	1 体系図（案）の確認及び修正
4	令和5年 9月26日	1 体系図（案）及び重点実施事項の確認
5	令和5年 11月28日	1 重点実施事項の確認
6	令和6年 1月30日	1 冊子版（案）の確認及び修正の有無の確認（～2月14日まで）
7	令和6年 2月14日	1 冊子版（案）のデザイン検討（～以降適宜確認し、作成）



# 藤ノ木校区の注目活動！



## —地域の防災に関する取り組み—

藤ノ木校区は、洞海湾と石峰山に挟まれ、傾斜も多い地域のため、北九州市のハザードマップを確認しても分かる通り、土砂・洪水などの様々な災害被害の危険が高い場所です。また藤ノ木に限らず、若松区は畠田付近を通る危険な断層もあるため、地震の恐れも高い地域です。

そのため藤ノ木校区では、防災についての取り組みを進めており、防災についての研修や、学校や地元企業と連携した小学校での防災訓練などを行ってきました。

また令和5年度からは「みんな de Bousai まちづくり推進事業」(p6 参照)にも取り組みはじめ、災害に対して、どのような体制を作り、いざという時に備えるかを、地域全体で考えています。

これからもまだまだ考えること、取り組むべきことが多い、防災についてですが、住民の皆さんの日頃からの防災意識や、備えなども重要です。今後も地域の取り組みについては、情報を発信していきたいと思っておりますので、それらに目を通していただき、知って・参加していただければ幸いです！



## —石峰ちょこっと応援隊（日常の困りごとをちょこっと応援）—

地域にお住いの高齢者の方の中には「ゴミ出しが出来ない」、「家の草が伸び放題になっている」などの、生活する上での困りごとを抱えている方も少なくありません。そのような方をサポートするために、令和3年7月から、西25区の有志の方が「石峰ちょこっと応援隊」を発足し、活動を開始しました。

### 【活動概要】

- 活動対象者 … 高齢者1人住まい、または高齢者夫婦のみの世帯を原則  
(その他の方は、事情をお伺いし、必要と認める世帯であれば対応いたします。)
- 活動内容 … 専門の技術を必要としない、ボランティアでもお手伝いできる活動



(草刈り)



(家具移動)



(電球交換)



(ゴミ出し)

左図は活動例です。依頼したい作業があればご相談ください！

- 活動料金 … 依頼前に作業チケット(100円券、500円券、1000円券)を購入いただき、終了後に料金相当のチケットを活動者の方にお渡しすることになります。

- 問い合わせ先 … 石峰公民館(12:30~16:30まで)、または隊長の中嶋(090-5295-4503)まで

## —地域の宝！子どもやその保護者に関する取り組み—



- おっはー藤ノ木 … 第2.4火曜日（10:00～12:00）未就学児童とその保護者の方が集まる場です。  
※若松区役所保健福祉課の保健師による乳幼児なんでも相談（第2火曜日）や子育てサポーターの見守り、読み聞かせ「ゆりかご」による絵本の読み聞かせも
- ふじのき遊び塾 … 令和5年度は12月に火おこし体験を実施。
- いきいき子ども講座 … 令和5年度は5月～10月にかけて、夏休みの工作や芋ほり大会などを実施。
- ふじっこフェスタ … 乳幼児の親子、小学生と一緒に楽しめる内容（こども店長やゲーム大会など）で開催。「ユーカーリの会」の方が作ってくださる昼食も楽しみの1つです！
- 五平太ばやしの伝承 … 石峯中学校生徒による「響音会」や小学校五平太クラブの子どもたちが、五平太ばやしを通じて、地域の方との交流や地域行事へ参加しています。

## 【問い合わせ先】

### 藤ノ木校区社会福祉協議会

〒808-0073 北九州市若松区赤島町20-13 藤ノ木市民センター内  
TEL 093-771-7955

### 若松区社会福祉協議会

〒808-8510 北九州市若松区浜町一丁目1番1号 若松区役所内  
TEL 093-761-3422 FAX 093-761-3660

### 北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市若戸畑区汐井町1番6号 ウェルとばた8階  
（代 表）TEL 093-882-4401 FAX 093-882-3579  
（地域福祉部）TEL 093-882-4425 FAX 093-873-1351

